

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2009
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.96, (2009. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00960001--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

- 1 鶉飼と明石の君——貴種をめぐる狩獵文芸史の視座から 野谷健
24 〈戦死者報道〉としての『趣味の遺産』 倉口徳光
-
- 74 彙報
- 95 現代日本語の音・訓読み分けの機構を論じ、
「漢語・和語形態素の相補的分布」に及ぶ 屋名池誠
- 112 「物語世界の客体化」からみる自由間接話法の言語間比較 橋本陽介
- 132 中国語学における新語研究の現在 赤平恵里
- 149 中国文字改革の論争与传统派观点的“反潮” 山下輝彦
- 164 フランスの雑誌広告における言葉遊び 志村佳菜子
- 177 フランス語の読解指導における精読と多読の効用について 平松尚子
- 191 民族的属性としての呪いと贖罪
——エジプト逃避とジブシーの起源 野端聡美
- 207 海と歌声——『イザベラの部屋』における歌の機能 針貝真理子
- 228 「言葉の家」——カール・クラウスの「文芸劇場」と
対抗的カノンの形成 安川晴基
- 242 *What is it about X that Y?* 構文とその語用論的変種 北村一真
- 255 談話を支える言語・非言語的手段の連続性
——命題性の低い表現の使用と機能 旗野智紀
- 276 OE において迂言的な法動詞+不定詞構文は意味論的及び統語論的に
どのように発達したか? ——グレゴリウスの『対話篇』の
ヴァージョン間比較研究 山本伍紀